

# 「新学習指導要領の趣旨とコロナ禍の音楽授業」

筑波大学附属小学校 高倉弘光

新学習指導要領が告示され3年が経ち、今年2020年に全面実施となりました。が、コロナ禍の影響で、音楽の授業づくりについて困惑している状況もあるようです。これからの授業、何がどう変わるのでしょうか。あるいは変わらないのでしょうか。

## ■「目標」について

・「音楽的な見方・考え方」を働かせて、「生活や社会の中の音や音楽と豊かにかかわる資質・能力」を育てる。

- 3つの資質・能力
- (1) 知識及び技能の習得
  - (2) 思考力・判断力・表現力等の育成
  - (3) 学びに向かう力・人間性等の涵養

・「音楽的な見方・考え方」＝音楽を形づくっている要素とその働きの視点で捉え、自己のイメージや感情、生活や文化と関連づけること⇨【共通事項】を核とした音楽のとらえ方

・「協働」→目標の(3) (学びに向かう力・人間性など) に新規。音楽科、図画工作科のみの表現。

## ■「内容」について

内容	ア	思考力・判断力・表現力	cf: 目標	(1)	知識及び技能の習得
	イ	知識		(2)	思考力・判断力・表現力等の育成
	ウ	技能		(3)	学びに向かう力・人間性等の涵養

\*つまり、音楽科は「技能教科」ではない(なくなった?)という意識が必要。

\*コロナ禍において、いっそうこのことを意識する必然に迫られた。



・この題材、この教材で、どのようなことに気付かせ(知識)、どのようなことを考えさせ(思考)、どのような技能を身に付けさせたいのか(技能)をプランすることが大切。

■ 3年「春の小川」を例に（考えてみましょう）

**春の小川**

♩=10465い

文部省唱歌 高野辰之 作詞 岡野貞一 作曲☆

1 はーるの おがわは さらさら いくよ  
2 はーるの おがわは さらさら いくよ

きーしの すみれや れんげの はなに  
えーびや めだかや こぶなの むれに

すーがた やさしく いろうつ くしく  
きよーうも いちにち ひなたて およぎ

さーけよ さけよと ささやき ながら  
あーそべ あそべと ささやき ながら

【どんな知識？】

【どんな思考？】

【どんな技能？】

（可能性として）

■ 2年「かくれんぼ」「山びこごっこ」を例に…

■ 高学年「クラッピング・ミュージック」の鑑賞⇔音楽づくり